

新型コロナウイルス禍での コミュニケーション施策による 外出行動促進効果

愛媛大学社会共創学部環境デザイン学科

松村 暢彦



背景

- 新型コロナウイルス感染拡大にともなって過度な外出抑制による悪影響
- メディアを通じた「行動変容」のアピール
- 適切なコミュニケーション施策が決め手
- JCOMMでは効果的なコミュニケーション施策の実績の蓄積

モビリティ・マネジメントの要素技術

化粧行動に関するコミュニケーション

■ 依頼法

- 「呼びかけ」であり、こうした呼びかけを行うだけで行動変容の意図が活性化される。

■ 情報提供法

- 行動変容にとって必要な情報をマテリアルを渡して提供する方法

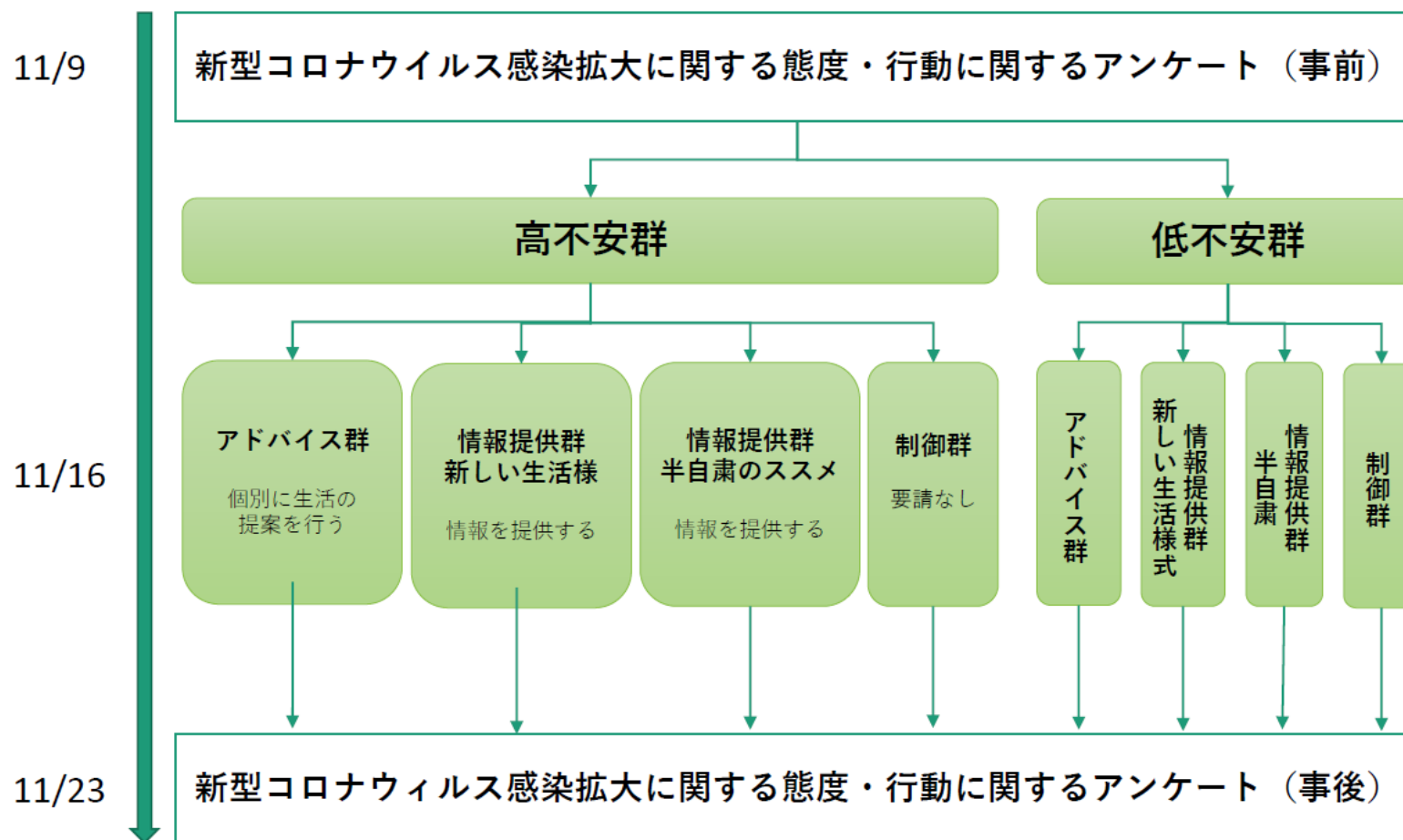
■ アドヴァイス法

- 行動変容にとって必要な情報を「アドヴァイス」という形で提供する方法

新型コロナウイルスの感染対策に関するコミュニケーション

コミュニケーション施策による**外出促進効果を実証的に明らかにする。**

新型コロナコミュニケーション実験



対象者：愛媛大学学生81名（1年生～4年生）
調査方法：WEBアンケート

アンケート項目

設問項目		内容	
個人属性		性別・65歳以上の同居人の有無等	
行動		外出行動の頻度・感染対策の実行度について	
行動意図		外出・感染対策を行う意図	
認知	脅威評価	脅威認知（深刻さ）	新型コロナウイルス感染症がもたらす被害の深刻さについて
		脅威認知（生起確率）	新型コロナウイルス感染症の被害を受ける確率について
	対処評価	効果性認知	感染対策の効果について
		コスト認知	感染対策の手間（費用）について
	個人評価	責任認知	感染対策に協力する責任について
		実行能力認知	感染対策を実行する能力について
	社会評価	実行者割合認知	感染対策を実行している人について
		規範認知	感染対策が規範になっているかについて
状態-特性不安		不安度を測る40の質問	

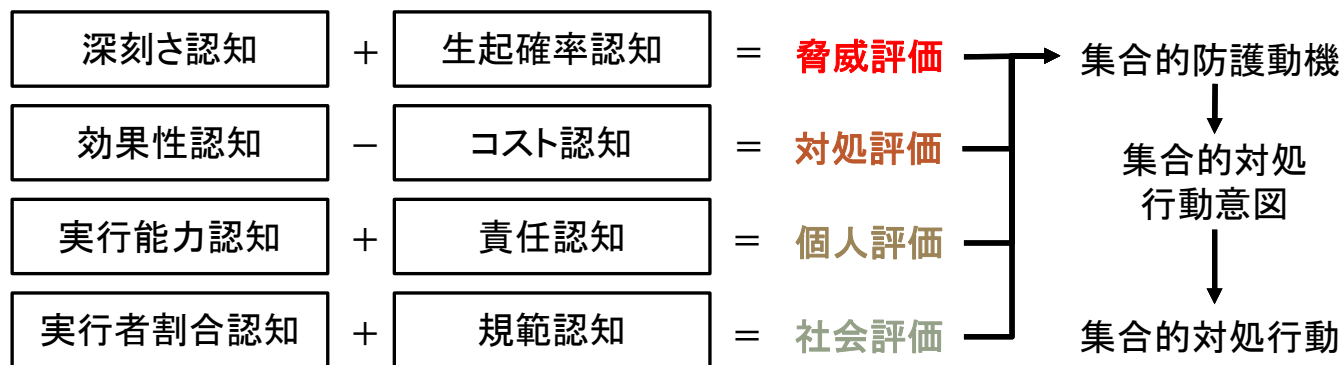
5件法

→ 4件法

集合的防護動機モデル 戸塚・深田 (2005)

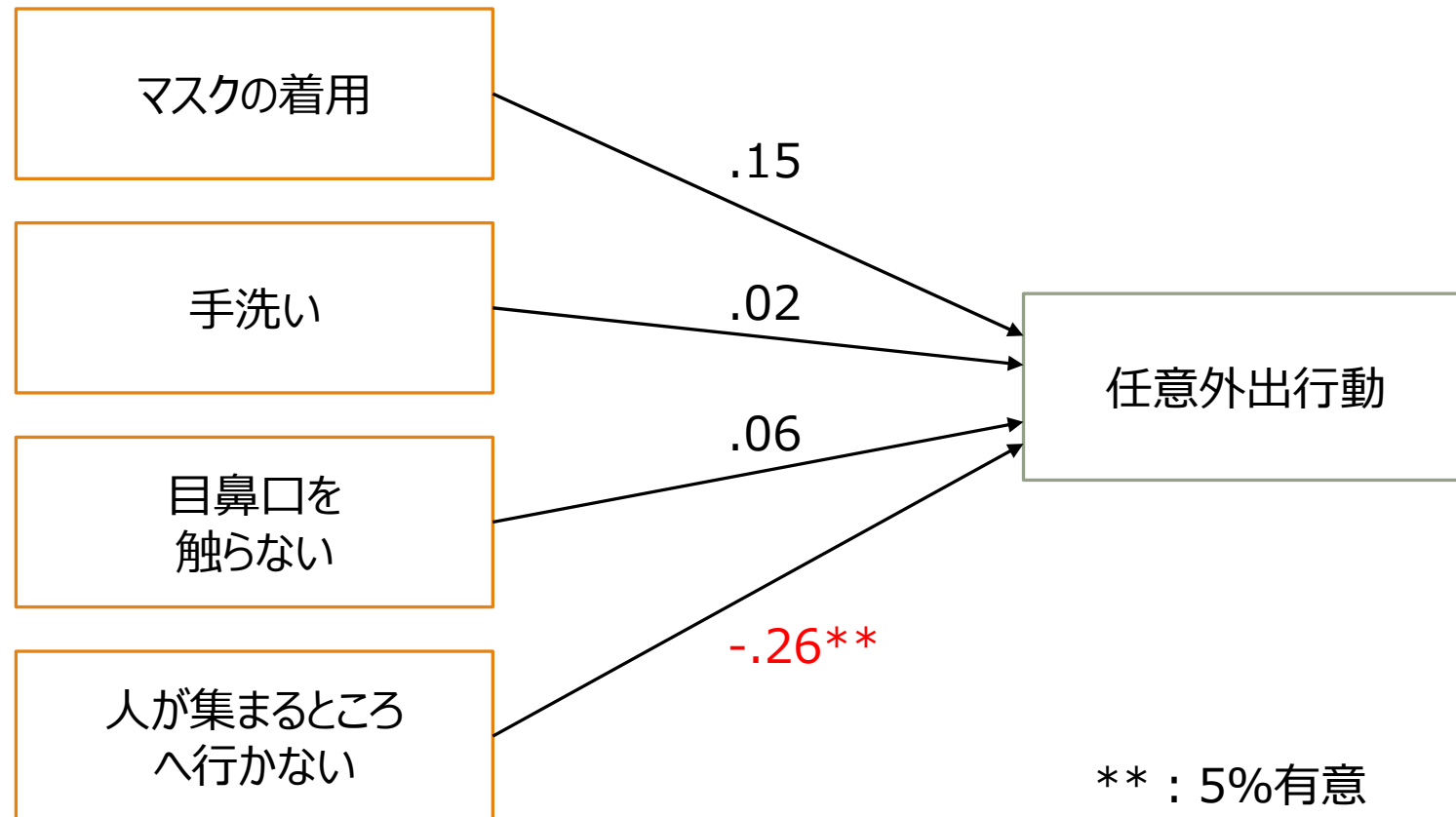
- 多数の人々が直面する脅威に対する、個々人の持つ対処行動意図とその規定要因の関係を説明するモデル
- ✓ 使用事例： 環境問題・集落ぐるみの獣害対策

防護動機理論が想定する2つの認知的評価に加えて「個人評価」、「社会評価」といった集合的な要素をモデルに挿入している。



- 新型コロナウイルス感染対策は個人的な対処と捉えることもできるが、個人の感染対策が他者を守ることになったり、経済回復に寄与したりすることから集合的対処行動の枠組みとして扱う。

感染対策行動と任意外出行動



新しい生活様式群

新しい生活様式 厚生労働省

新型コロナウイルス感染拡大予防 日常生活の中で取り入れてほしい 新しい生活様式

愛媛大学 総合健康センター 令和2年5月27日



新しい生活様式とは

新型コロナウイルス感染症専門家会議からの提言を踏まえ、国から新型コロナウイルスを想定した「新しい生活様式」が発表されました。日常生活の中で取り入れてほしい実践例が示されていますのでぜひ参考してください。



(1) 一人ひとりの基本的感染対策

感染防止の3つの基本：

①身体的距離の確保 ②マスクの着用 ③手洗い

- 人と人の間隔は、できるだけ2m（最低1m）空ける。
- 遊びにいかなら室内より屋外を選ぶ。
- 会話をする際は、可能な限り両正面を避ける。
- 外出時、屋内にいるときや会話をするときは、症状がなくともマスクを着用
- 家に帰ったらまず手や顔を洗う。できるだけすぐに着替える、シャワーを浴びる。
- 手洗いは30秒程度かけて水と石けんで丁寧に洗う（手指消毒薬の使用も可）



※高齢者や持病のあるような重症化リスクの高い人と会う際には、体調管理をより厳密にする。

移動に関する感染対策

- 感染が流行している地域からの移動、感染が流行している地域への移動は控える。
- 帰省や旅行はひかえめに。出張はやむを得ない場合に。
- 発症したときのため、誰とどこで会ったかをメモにする。
- 地域の感染状況に注意する。

(2) 日常生活を営む上での基本的な生活様式

- まめに手洗い・手指消毒
- 咳エチケットの徹底
- こまめに換気
- 身体的距離の確保
- 「3密」の回避（密集、密接、密閉）
- 毎朝で体温測定、健康チェック



発熱又は風邪の症状がある場合はムリせず自宅で療養

(3) 日常生活の各場面別の生活様式

買い物

- 通販も利用
- 1人または少人数ですいた時間に
- 電子決済の利用
- 計画をたてて早早く済ませ
- サンプルなど展示品への接触は控えめに
- レジに並ぶときは、前後にスペース



娯楽、スポーツ等

- 公園はすいた時間、場所を選ぶ
- 筋トレやヨガは自宅で動画を活用



- ジョギングは少人数で
- すれ違うときは距離をとるマナー
- 予約制を利用してゆったりと
- 狭い部屋での長居は無用
- 歌や応援は、十分に距離をオンライン



公共交通機関の利用

- 会話は控えめに
- 混んでいる時間帯は避けて
- 徒歩や自転車利用も併用する



食事

- 持ち帰りや出前、デリバリーも
- 屋外空間で気持ちよく
- 大皿は避けて、料理は個々に
- 対面ではなく横並びで座ろう
- 料理に集中、おしゃべりは控えめに
- お酌、グラスやお箸口の回し飲みは避けて



冠婚葬祭などの親族行事

- 多人数での会食は避けて
- 発熱や風邪の症状がある場合は参加しない



【参考】
厚生労働省ホームページ

半自粛情群

半自粛のススメ

京都大学レジリエンス実施ユニット

「半自粛」のススメ

京都大学レジリエンス実践ユニット
(令和2年5月18日:国土強靱化推進本部・幹部会 提案資料)

専門家会議の「新しい生活様式」は 即刻取り下げが必要な程に問題が多い

(問題1)感染防止のために最も重要な諸事項が書かれていない。
「飲み会自粛」「目鼻口を触らない」「高齢者等保護」は
極めて効果的だが、書かれていない。

(問題2)感染防止のために「無駄」なのに経済社会に
「被害」を与える項目が多い。
「社会的距離の確保」が絶対条件の様に書かれているが、
実際は不要な局面がある(換気された空間で皆が発話しない
映画/コンサート/電車/バス/食堂などは、感染リスクほぼゼロ)

(問題3)項目が多くて覚えられない。



高齢者の自粛継続 要請は得策である

= 事実上、
重症化/死亡は
ほとんど全て高齢者
(若年層ではほとんど
見られない)

※出典: 東洋経済HP

半自粛

～感染被害拡大を防ぎながら再開する方法～

手洗い・マスク・咳エチケットはもちろんのこと・・・

■基本方針 高齢者・基礎疾患者・妊婦の保護強化
(自粛継続 & 同居者・同僚の「移さない」配慮)

■外出時の注意点は3つだけ

- ①「飲み会/カラオケ/性風俗」等の自粛継続 飛沫感染対策
(つまり、他者と飲食中の近接“発話”“接触”自制)
- ②「鼻の穴」と「口」と目[※]を徹底的に触らない 接触感染対策
- ③「換気」の徹底 広義の空気感染対策

■「半自粛」コンセプトで作った車内掲示ポスター

新型コロナウイルスにうつらない、うつさないために、今、できること。

バス・電車・タクシーは、この3つ

をみんぞ守れば感染リスクはほとんどありません!

1 常にしっかり換気! これでは(広義の)「空気感染」リスクはほぼゼロ!

2 「目・鼻・口」は何が何でも触らない! これでは「接触感染」リスクはほぼゼロ!

3 お静かに...。話すなら「マスク」! これでは「飛沫感染」させるリスクはほぼゼロ!

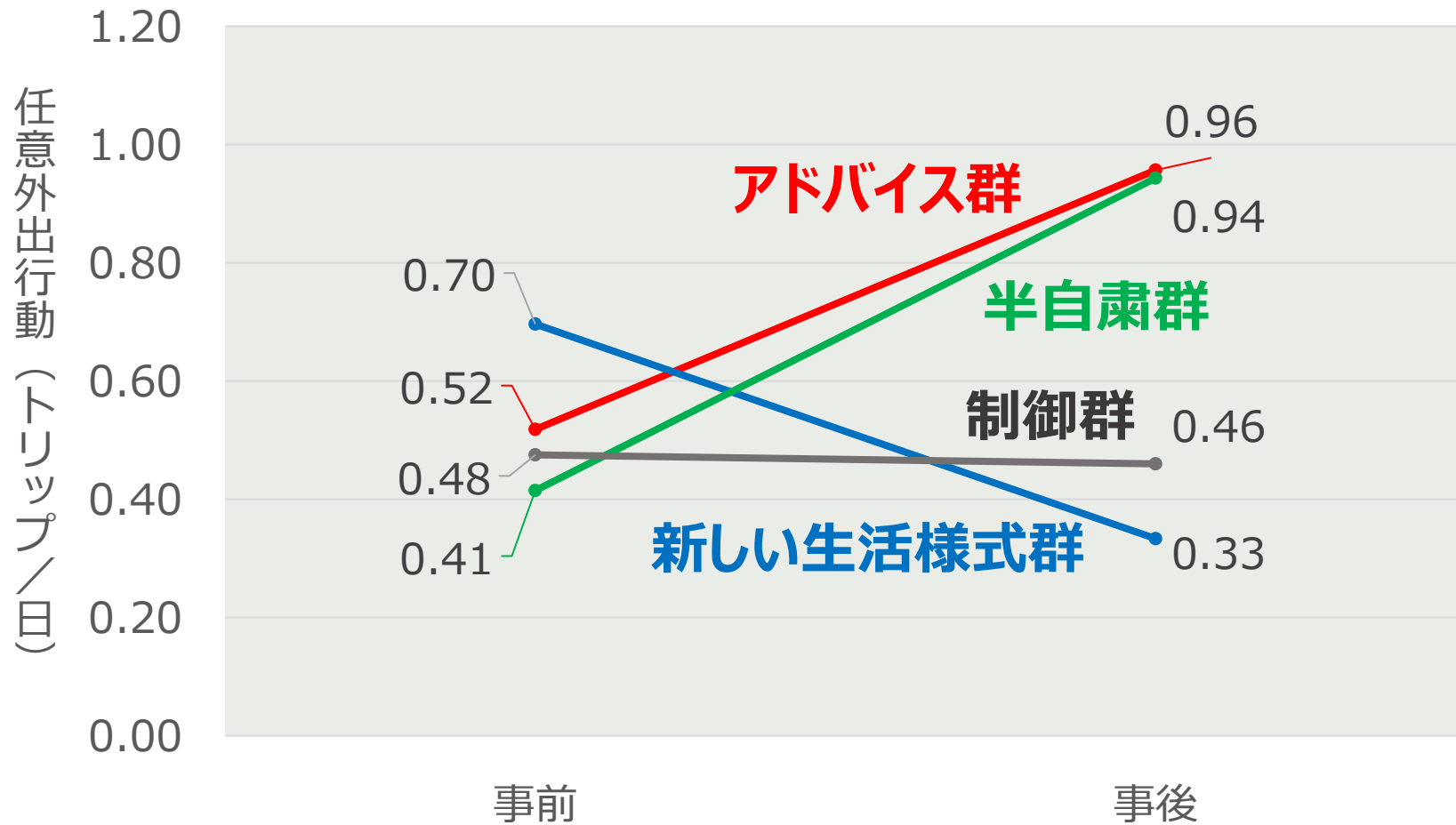
※換気が可能な「乗客専用」は「換気・咳エチケット」を徹底し感染拡大を抑制するのを目指して下さい。
もちろん、「混雑状況」も大切です。※車内・車外は必ずマスクの上での会話をお願いします。

発行: 一般社団法人日本モビリティ・マネジメント会議 (JCOMM)

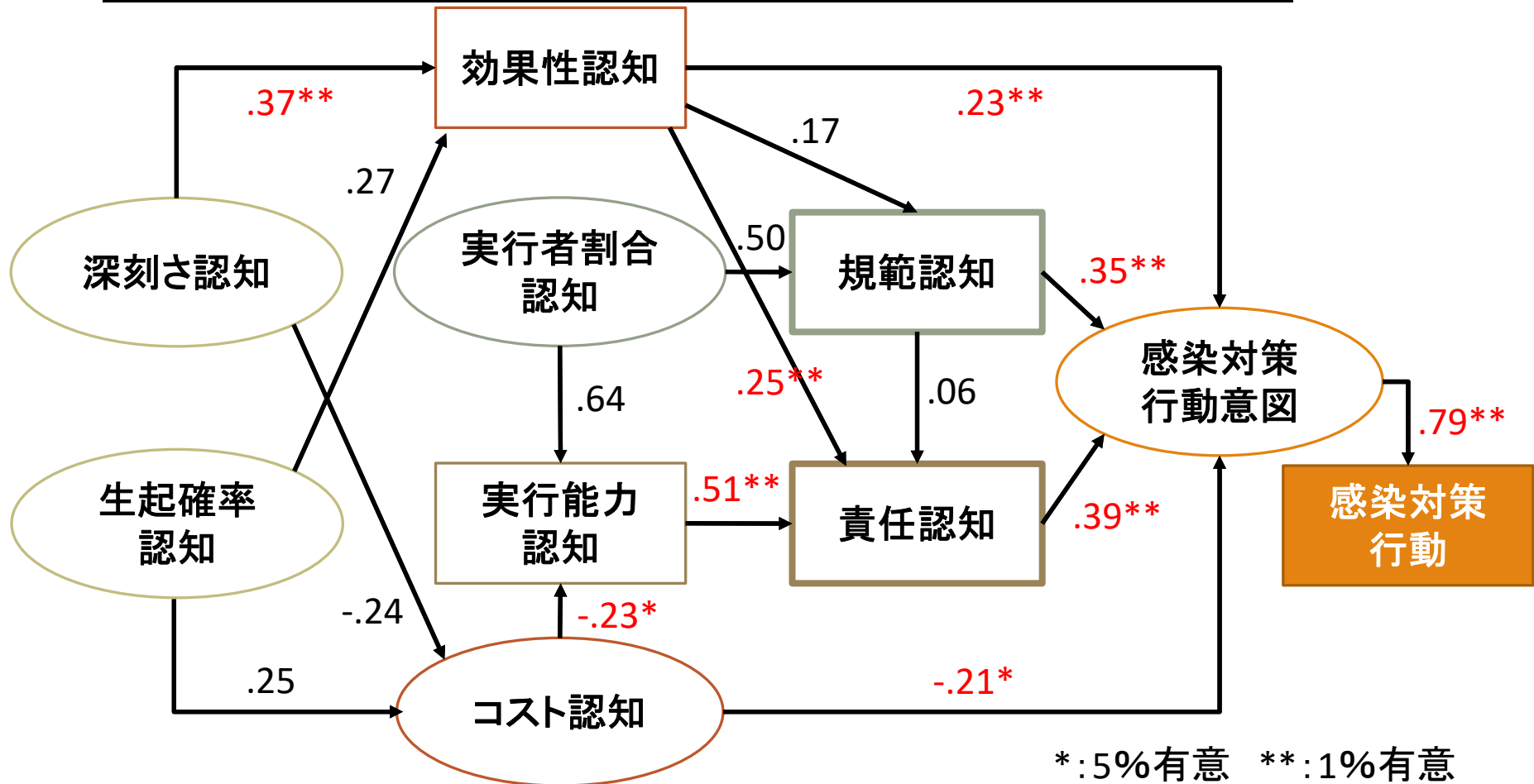
アドバイス群

現在のあなたの生活	感染対策の実態	これからの生活の提案
● 継続してやりましょう		
<ul style="list-style-type: none">マスクの着用を意識して実施しています。	<ul style="list-style-type: none">主な感染経路の一つである飛沫感染の防止に有効。マスクを着用していれば同じ飛沫感染対策の身体的距離の確保は絶対ではない。(京都大学レジリエンス実践ユニット)	<ul style="list-style-type: none">外出時のマスクの着用を続けましょう。
● 外出を増やしましょう		
<ul style="list-style-type: none">現在、屋内での娯楽を目的に月1回ほど、屋外での娯楽を目的に月1回ほど外出しています。	<ul style="list-style-type: none">外出自粛の影響で令和2年9月の売上高が、愛媛県内企業の75%で落ち込んだまま(東京商工リサーチ松山支店調査)換気されている空間で、発話をしない場面では、不特定多数の人が触れる物や人との接触がある場合でも、目・鼻・口を触らないことを徹底すれば感染リスクはほとんどない。(京都大学レジリエンス実践ユニット)	<ul style="list-style-type: none">紅葉が美しい季節になりました。友人と紅葉狩りを楽しんでみてはいかがでしょうか。換気された空間で発話を伴わない映画館や美術館の利用がお勧めです。
<ul style="list-style-type: none">現在、週7回ほど買い物にスーパーやコンビニ等を利用しています。	<ul style="list-style-type: none">映画館の換気実証実験 (https://youtu.be/yAloeIOAdKM)	<ul style="list-style-type: none">フジでは20日からブラックフライデー特別セールを開催予定です。買い物に足を運んでみてはいかがでしょうか。

実験の効果の検証 (任意外出行動)



感染対策行動モデル (マスクの着用)



GFI=0.826, AGFI=0.735, CFI=0.804, RMSEA=0.113

モビリティ・マネジメントの要素技術

化粧行動に関するコミュニケーション

■ 依頼法

- 「呼びかけ」であり、こうした呼びかけを行うだけで行動変容の意図が活性化される。

■ 情報提供法

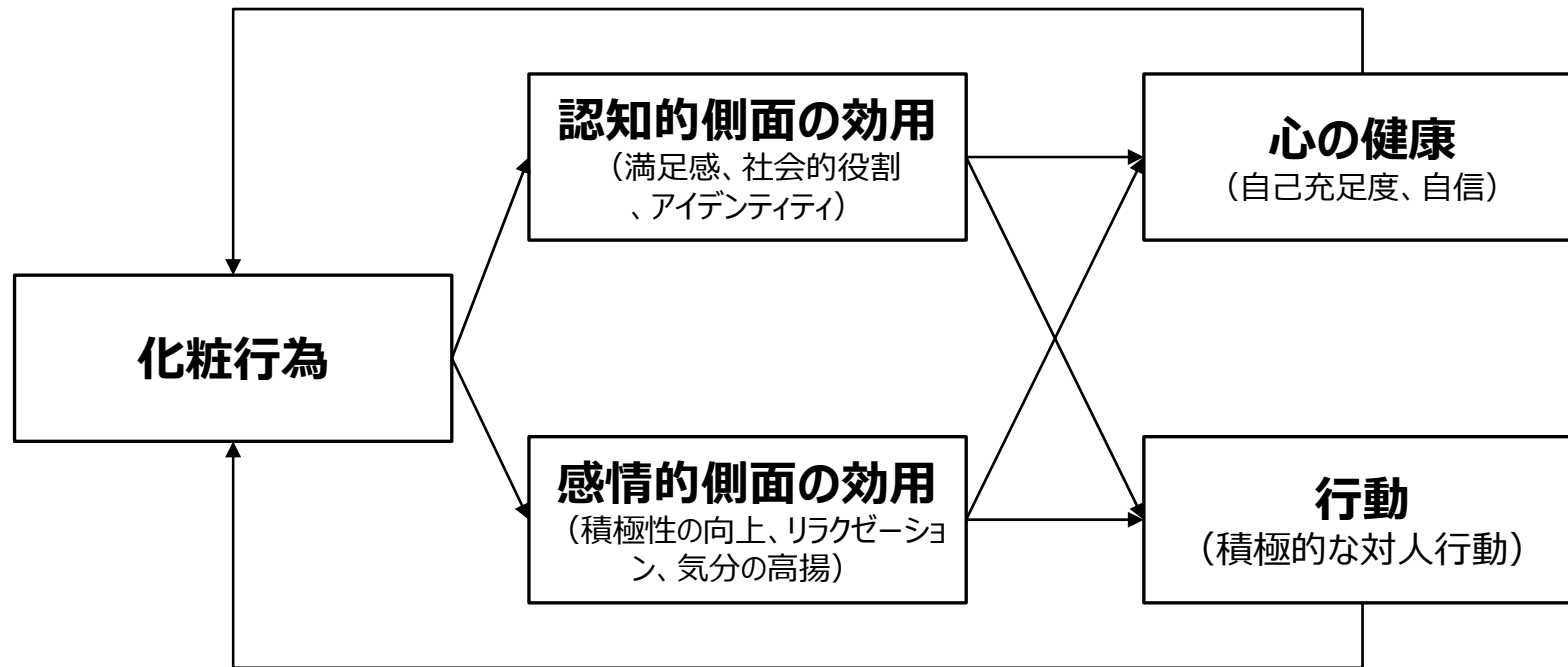
- 行動変容にとって必要な情報をマテリアルを渡して提供する方法

■ アドヴァイス法

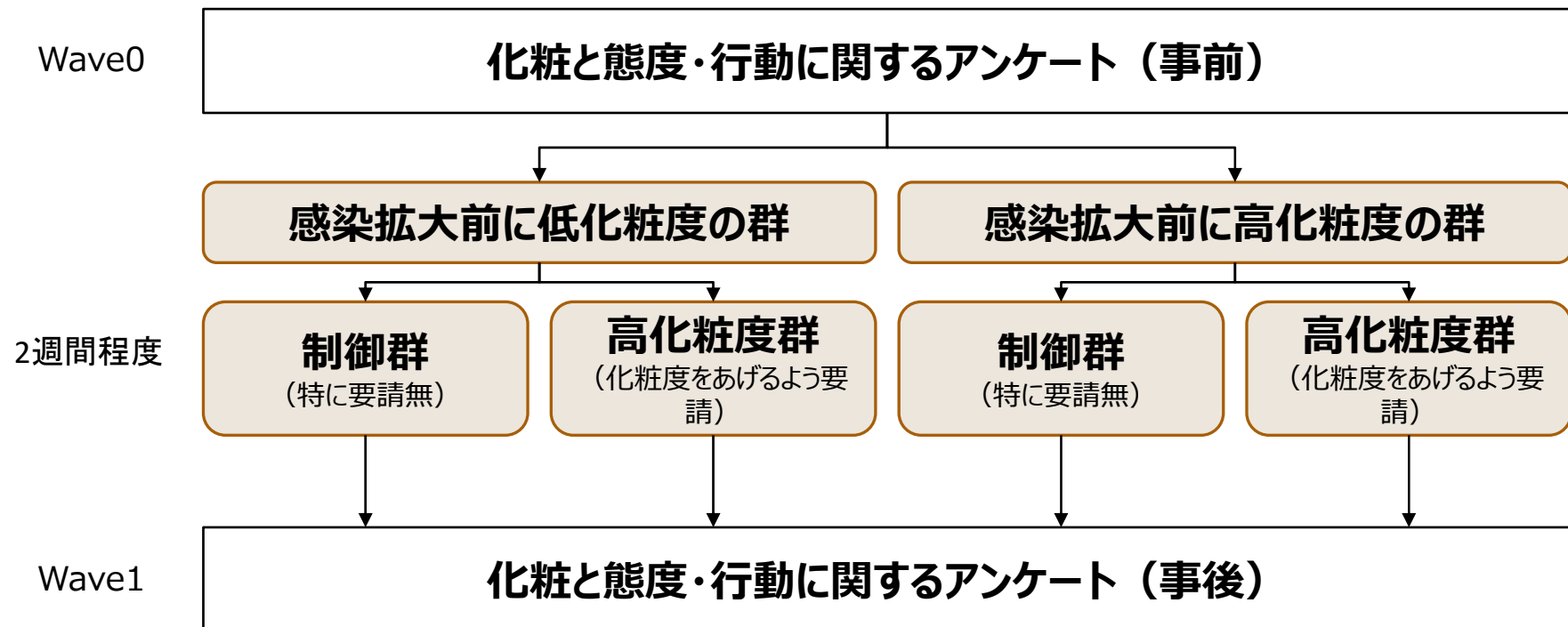
- 行動変容にとって必要な情報を「アドヴァイス」という形で提供する方法

コミュニケーション施策による**外出促進効果を実証的に明らかにする。**

化粧行動と心理的効果と行動の関係図



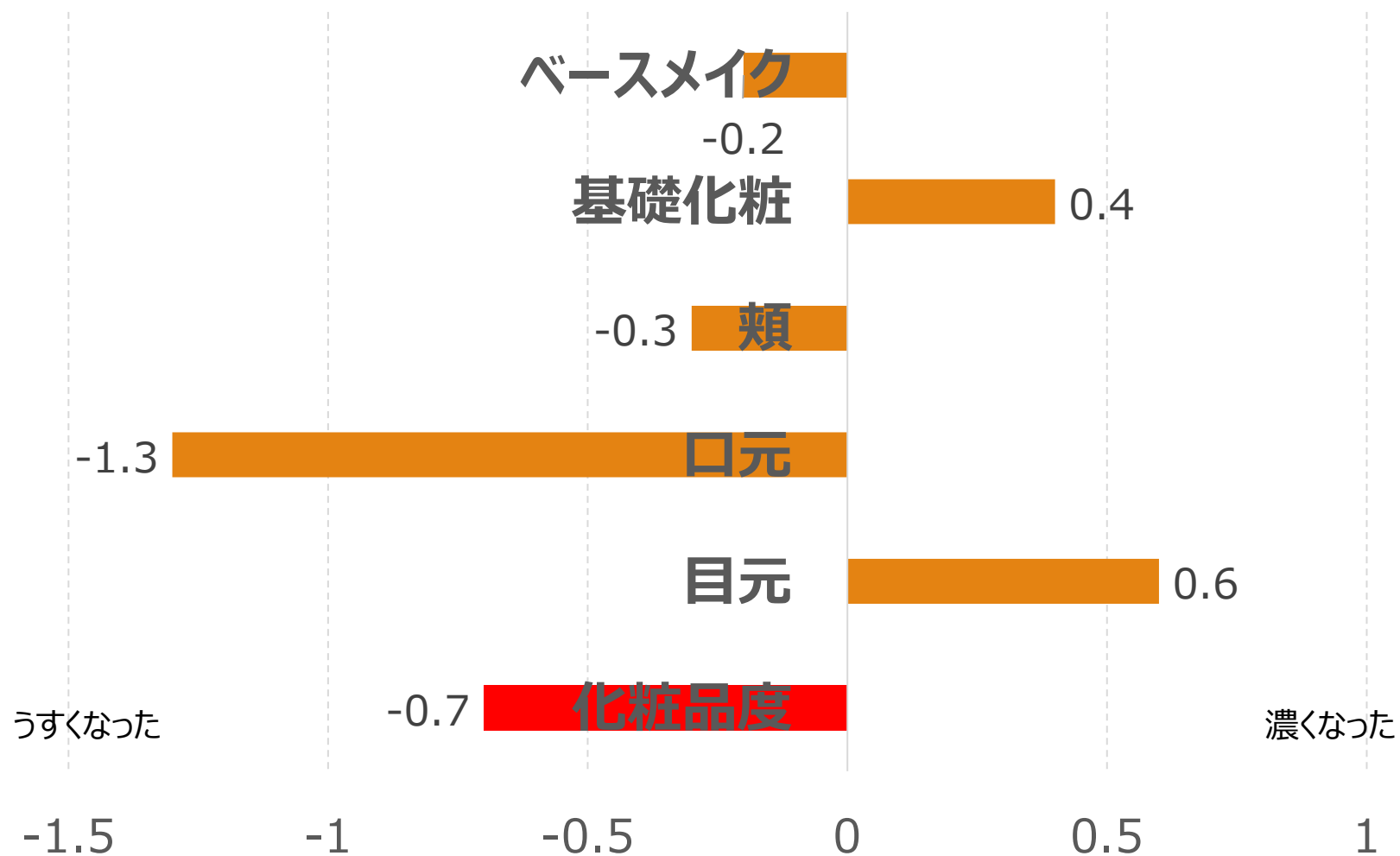
コミュニケーション実験



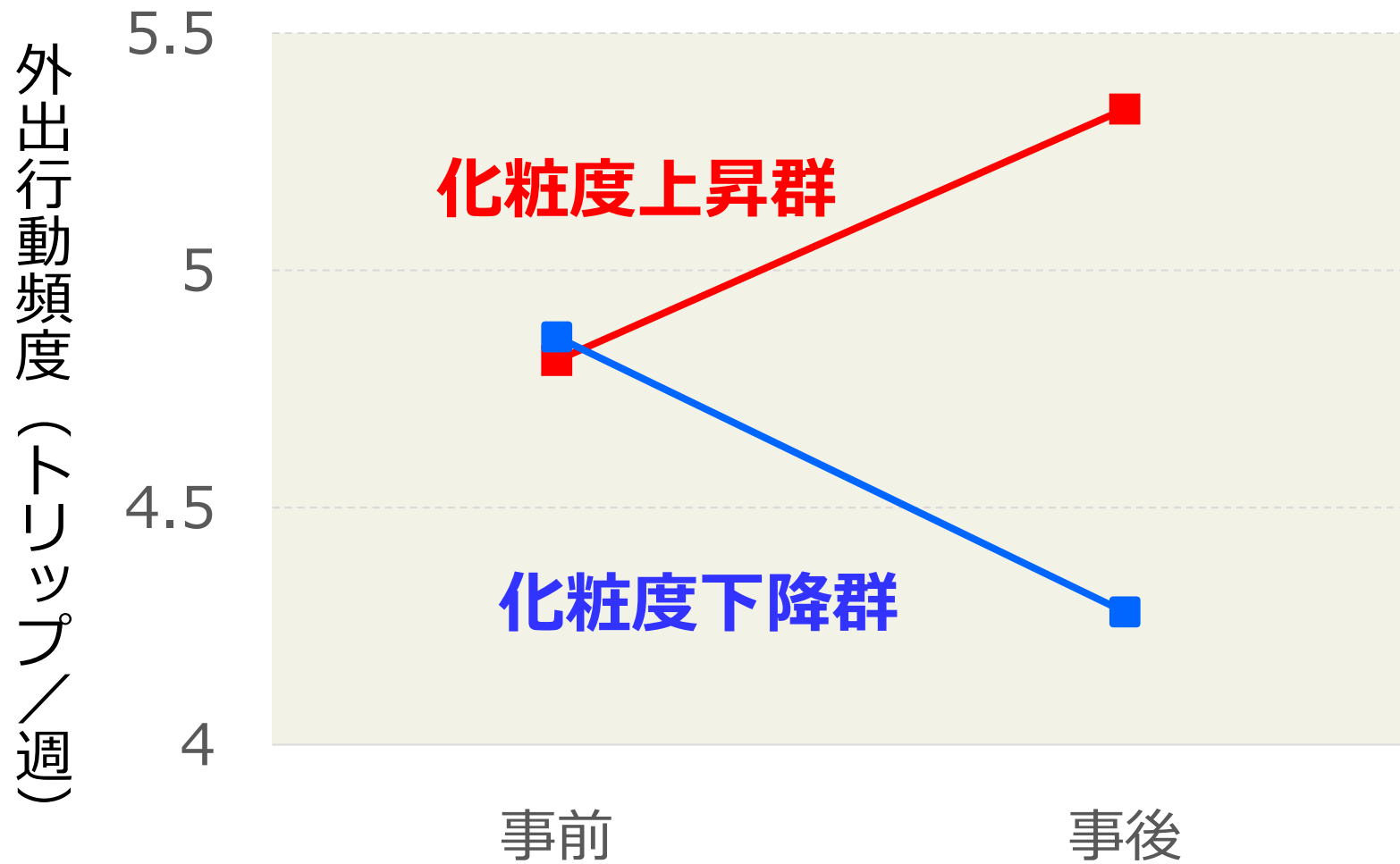
調査概要

時期	2020年11月9日～12月10日
対象	愛媛大学女子生徒
配布	メールでの配布
回収数	事前アンケート：104部 事後アンケート：66部
質問項目	<ul style="list-style-type: none">・ 個人属性(3問)・ 化粧態度(5問)・ 新型コロナウイルス感染症拡大前の化粧行為(6問)・ 新型コロナウイルス感染症拡大後の化粧行為(6問)・ 認知的効果(6問)・ 感情的効果(7問)・ 生活満足度(4問)・ 外出行動(4問)・ コロナ不安(4問) 計45問

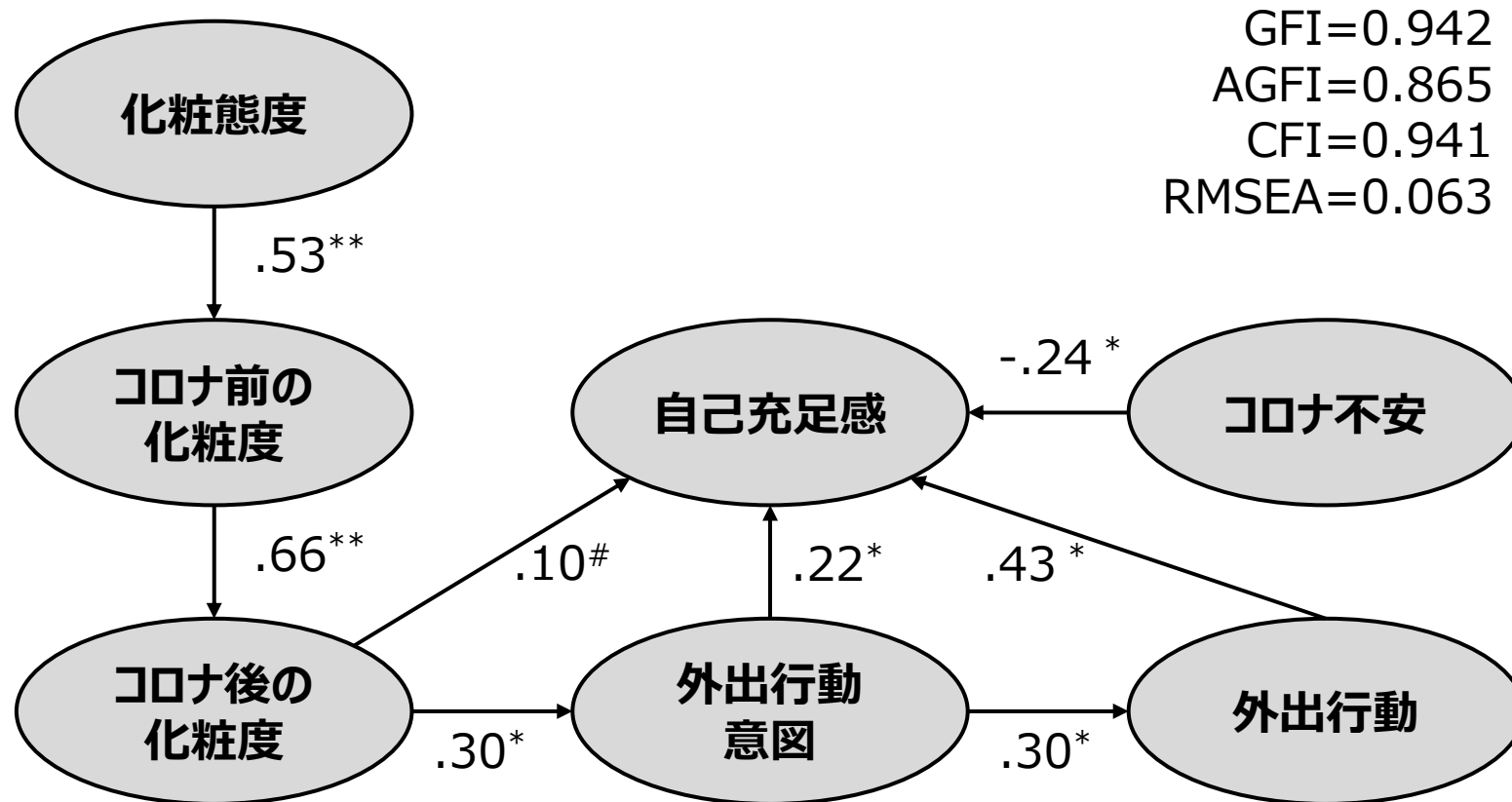
コロナ前後での化粧行動の変化 (コロナ後－コロナ前の化粧度)



化粧行動による外出促進効果



化粧行為と外出行動の意識構造図



GFI=0.942
AGFI=0.865
CFI=0.941
RMSEA=0.063

** : 1%有意 * : 5%有意 # : 10%有意

まとめ

- アドバイス群と半自粛のススメ情報提供群が任意外出行動の促進に有効。
- 化粧度をあげる依頼することによって、外出行動を促進することができ、自己充足感を高めることができる。
- **適切なコミュニケーション施策を実施することによって、新型コロナウイルスによる過度な外出控えを抑制することができる。**